

<学校づくり>

- ◆ ステークホルダーにそれぞれの評価をフィードバックした改善を進めていくことが重要である。
- ◆ 評価表は全体的に、具体的な成果や達成手段を書くようにしなければならない。
- ◆ 御校オリジナルの教育をアピールして伊奈町に人を集めてほしい。

<教育活動>

- ◆ 学力をどう伸ばすかという点で、より具体的な対策が必要である。
- ◆ 自己学習の充実について、小テストや宿題で対応している点は評価できる。各教科の取り組みを総合的に教務部が把握していくとさらに良くなるのではないか。
- ◆ 学生が「大学でこんなに勉強するとは思わなかった」と話していたことがある。御校ではキャリア教育を本質的に理解した指導がなされているが、より個別対応を意識して行う必要がある。
- ◆ 日本人は積極的に海外へ出ていく必要がある。若い高校生のうちから異文化理解の取り組みをしていることは良い。
- ◆ 在校生に卒業生の体験談を聞ける機会を、これまで以上に設けてもらいたい。

<生徒指導>

- ◆ 評価項目にメモを取るという漠然としたものがあるが、それを達成するために感想文を書かせるようにするなど具体的なものにしていく必要がある。
- ◆ 挨拶は防犯上からも重要と考える。より大きな声でできるように指導してほしい。
- ◆ 公共マナーも含めた交通安全教育に力を入れてほしい。

<情報の発信>

- ◆ 学校だけであらゆる教育活動を行うには限界がある。情報の共有を密にし、地域や家庭との連携により力を入れていく必要がある。
- ◆ 五峯祭などを通じて、地域とのコミュニケーションを積極的にとっていただいていることはありがたい。

以 上